

取組の概要

取組の概要 : 機械導入により効率的な栽培、省力化を進め、水稻の生産コストを削減
計画作成主体 : 佐用地域農業再生協議会
対象品目 : 水稻 (産地面積 : 49ha)
取組主体 : 東徳久地区農事組合法人
成果目標 : 10a当たりの生産コストの10%以上削減
助成金の活用 : 生産支援事業 (田植機のリース導入) 状況

ポイント

規模拡大に伴い、作業の効率化・省力化を図るため、田植と同時に施肥が可能となる田植機を導入することにより、人件費等が削減でき、水稻生産コストの10%以上の削減を実現する。

地区の概要



兵庫県
さよう
佐用町
ひがしとくさ
東徳久地区

産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 37.6ha
生産コスト : 97,267円/10a

〈目標:H30年度〉

作付面積 : 49ha
生産コスト : 86,706円/10a

推進体制

光都農林振興事務所、佐用町が一体となって事業推進に努める。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

疎植栽培技術の導入。
従来の、10a当たり苗箱20箱 (株間16cm) の栽培から、10a当たり苗箱14箱 (株間30cm) の疎植栽培を実践することで、省力化・低コスト化に繋げる。

事業効果

地域で農地集積を進め経営規模を拡大。作業の効率化・省力化が可能な機械を導入することにより、生産コストを10%以上削減。

～水稻生産コスト～
(10a当たり)